

10月

あつぎ・九条の会

現在会員
1640人

〒243-0206
厚木市下川入369-4
TEL 046-246-0179
編集責任者
大友 三昭
E-Mail
ohtomo3m@
yahoo.co.jp

◆ **11・3憲法大行動** つなごう 憲法を生かす未来へ
日時… 11月3日(金) 13時45分～15時10分
場所… 国会正門前(小田急代々木上原～千代田線・霞ヶ関駅)
内容… 国会議員挨拶・憲法学者スピーチ・齋藤小百合さん、清水雅彦さん・トーク(辺野古、原発事故処理水放出問題、マイナンバー問題)

軍事対軍事でなく 日本政府は外交努力を

8月18日～19日に米国のワシントン近郊で日米韓の首脳会談が行われ、中長期的指針である「キヤンプ・デービット」原則と具体的な課題や取り組みを内容とする「日米韓首脳共同声明『キヤンプ・デービットの精神』」などが発表されました。

事実上の「3国軍事同盟」構築を宣言

「地政学的競争、気候危機、ロシアによるウクライナに対する侵略戦争、核による挑発が我々を試している」として、「日米同盟と米韓同盟の間の戦略的連携を強化し、日米韓の安全保障協力を新たな高みへと引き上げる」と軍事面での強化を謳い、事実上の「3国軍事同盟」の構築を宣言しました。

共同軍事訓練の強化、武器の共同開発

宣言では、中国や北朝鮮に対し、日米韓が「能力及び協力を強化するため、複数領域に及ぶ共同訓練を毎年定期的に実施する」としています。更に、日米首脳会談では、滑空段階迎撃用誘導弾の共同開発で合意。これは新たな軍拡競争をもたらすもので、莫大な費用を要する大問題です。

求められる平和共存の道

今、求められることは、あらゆる紛争を話し合いで解決し、戦争にし

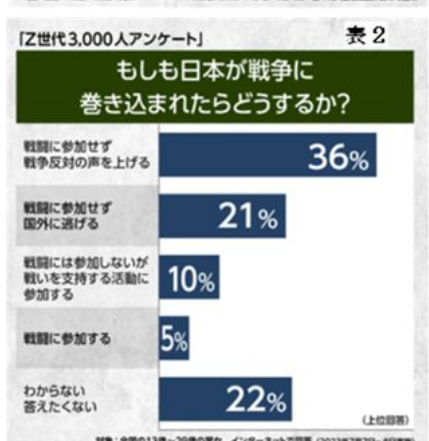
～それでも戦争は「悪」です

Z世代「戦争の受け止め」

NHKがZ世代(10代～20代30000人を対象にインターネットを通して行ったアンケート結果を基に、「Z世代と戦争」と題して12名のZ世代と二名の専門家による番組を観た(2023・8・15)。

「10年以内に日本が戦争に巻き込まれる可能性はあると思うか?」に、「ある」が半数。表1(出典…NHKホームページ)。理由は「朝鮮半島の緊張感」「台湾有事の際に自衛隊が米軍と共に派遣される」「集団的自衛権が行使される」など。

「ない」の理由は、「戦争の恐ろしさを学んでいて反対派が多数だから」「米国の核の傘に入っているから」



「もしも日本が戦争に巻き込まれたらどうするか?」に、「戦闘に参加せず戦争反対の声をあげる」と「戦闘に参加せず国外に逃げる」で過半数。「戦争に参加する」は5%。表2出典…NHKホームページ)。

専門家は「戦争の実際というのは、このアンケートのような選択肢すらなくなるものだと思う」「今回のアンケートは、『戦う意思がある日本国民は、その気になったら戦争で戦える』という前提で作られているが、実際はなかなか簡単ではない」と発言。

SNSを使いこなすZ世代は戦争についての多くの情報が集まる。戦争に巻き込まれる可能性は高いと感じているけれど、戦争の当事者にはなりたくないが多数で、「戦争はいや」の深層心理があるのだろうと思えた。

「戦争NO」が平和の必要十分条件

平和一辺倒では、国際社会における安全保障の環境変化に対応できない。



「戦争は悪」「戦争は絶対に起こしてはいけない」を訴えれば、「平和一辺倒では、戦争を止められない」と反論される。それでも「戦争は絶対にダメ」と言おう。戦争は私たちが殺され、私たちが生身の人を殺すリアルだから。人間は本能的に死の恐怖を持つ。まして戦争で死にたくはない。

ウクライナでの戦争で人が血を流し建物破壊されているリアル。これを私たちの身の上で起こることとして受け容れられるのだろうか。

島の4人に1人が犠牲になったとされる、沖縄での米軍との地上戦。高純度ウラン鉱石の独占で開発が早まり投下された広島・長崎への原子爆弾。多くの犠牲者を出して敗戦となった。その反省から「二度と戦争はしない」と宣言した「憲法九条」。

憲法九条を守る

この一点で手をつなぎ発足した「九条の会」。これを若い世代へ引



9月19日・本厚木駅北口で行われた大軍拡増税反対宣伝行動(毎月19日に実施)

き継ぐことを切望する私たちは、このアンケート結果をどう受け止めるか、活かすことができるのでしょうか。

武力で戦争は抑止できない、武器を持てば使いたくなる、相手はさらに上回る武器を持つ。だから断続的努力で敵を作らず、友好関係を築き、常に話し合いの場を維持し、紛争の火種を消しておく。その共通認識の基本は、世界に誇れる「憲法九条」を守ることだと確信します。(北川和麿)

- ### 《行事案内》
- ・大軍拡・増税反対スタンディング 10月19日(木) 13時～本厚木駅北口
 - ・憲法大行動 11月3日(金) 13時45分～国会正門前
 - ・厚木市九条の会ネットワーク会議 11月9日(木) 14時～保健福祉センター 作業室
 - ・9の日行動 11月9日(木) 16時～本厚木駅北口
 - ・あつぎ・九条の会サポーターの会 11月11日(土) 14時～保健福祉センター 研修室

看板「憲法9条は宝！」設置進んでいます

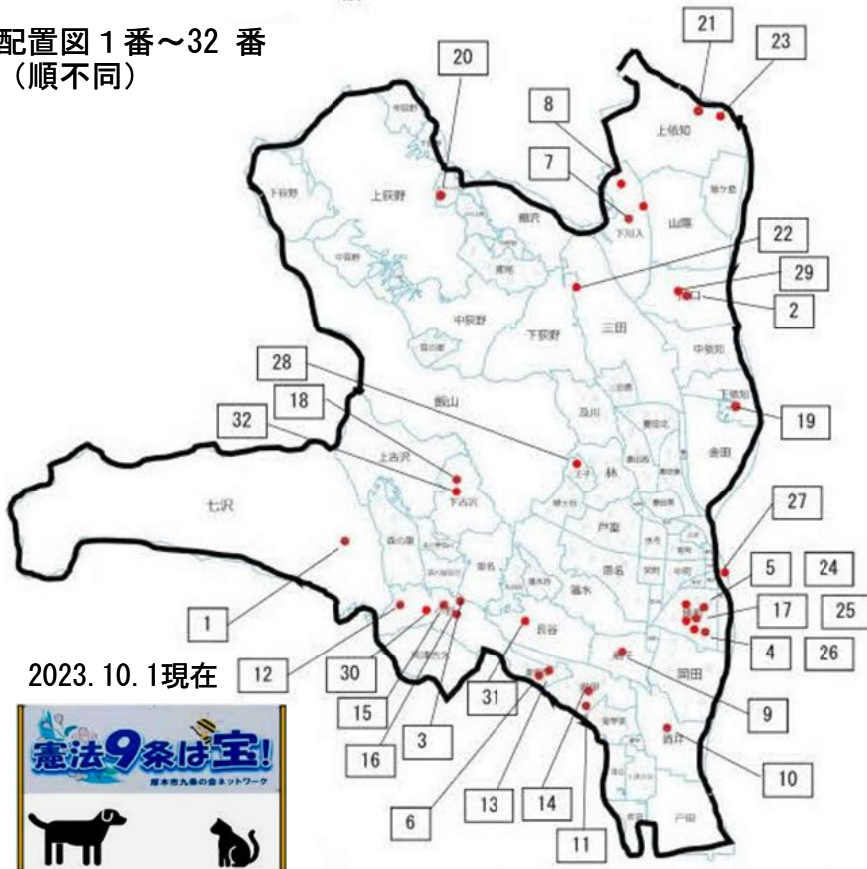
当会の前号ニュースで、「憲法九条は宝！」の看板の設置協力の呼びかけを致しましたが、5地区から8枚の設置依頼がありました。依頼地区は、長谷、飯山、下古沢、相川、愛川町、町田市野津田です。

3名で設置チームを作り、6枚は設置が完了致しました。これまで、ニュースでの繋がりでしたが、訪問し、現状をお伺いすることも出来て一石二鳥の取り組みとなっております。まだ、20枚程在庫がありますので、ご家族で相談の上、設置に引き続きご協力をお願い致します。設置時間は30分〜1時間程度になります。

「憲法9条は宝！」の大型看板

厚木市に32ヶ所設置され皆様に愛されています。

配置図1番〜32番 (順不同)



2023.10.1現在

新たに設置された「憲法九条は宝」の看板



(北川)までお願いします。 *連絡は一面 下段の連絡先

写真1 町田市野津田
写真2 厚木市長谷
写真3 厚木市下古沢

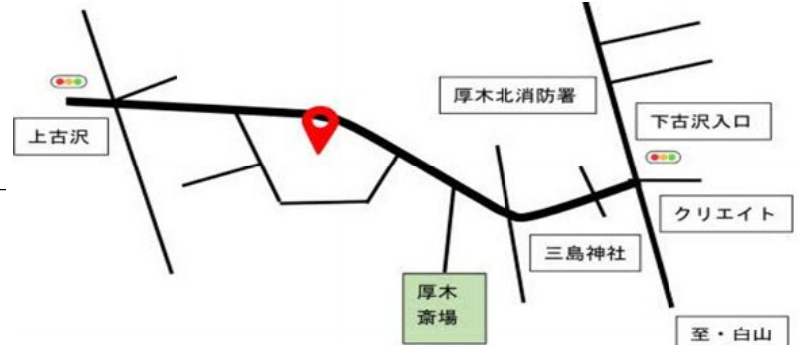
◆「逆の安全保障」
「安全保障環境は益々厳しくなった」と言われます。厳しくなったからと言って防衛力を増やしています。益々厳しくなるということは方向性が間違っている証拠です。従って、やり方を逆にすれば良いはず。片方が防衛力を減らせば、相手も減らせます。安全保障環境は益々緩くなります。それが「憲法九条」だと思えます。(伊部康雄)



◆「理想」と「現実」
この2つの言葉は繋がっているとずーと思っている。「このように有りたいたい」という理想を持って、それに近づいて行くように「現実」を捉えていく。今「憲法9条は宝！」の看板の設置運動をしています。(北川和麿)



川柳
妻田(安芸礼太)
この2年「今日より明日」の白昼夢
闇ワイロばれたら返えしやいのかい
愛川(康)
簡単に物価は下がる投票で
駅頭で声張り上げて健康だ
下川入(昭)
解散をしないと我が身先がない
ジェンダーは意識はしたと5閣僚
下古沢(和)
判決に驚く環(かんきょう)省(しょう)に驚いた
味するの食べてにっこりトリチュウム



冗談工房
記者今回の内閣改造人事は？
首相Aに任せたので間違いないっす！
旭町(紀)
ですが、この活動も「理想」に向けての一つの取り組みだと思えます。
9条の会の活動で多少「憲法」のことを知るようになりました。「憲法9条」は日本国憲法に謳われている「現実」に存在している条文です。しかし、この条文は「理想」で「現実」とは違うから「現実」に併せて「憲法」を変えるべきだ。改憲論者の多くはこの立場だ。「理想」と「現実」を対岸と捉える。
私も、「憲法9条」は理想であると思う。これからも「理想」に向かって「現実」を捉えていきたい。(三昭)